

第19回

地域生活支援推進研究会議 開催要綱

地域における新たな障害者支援施設像とは

～入所待機者ゼロからケアコミュニティの中核へ～

1. 開催趣旨

入所待機者ゼロ現象は、既に全国のいたる施設で始まり、大規模施設から小規模施設への流れは確実に進んでいる。脱施設化の国際的な流れのなかにおいて、「地域移行」は定着し、相談支援の現場においても、そのことについては根付いている。

一方、障害者本人、あるいは家族の高齢化により、地域生活から施設入所への回帰も静かに起こり始めている。

入所施設は、果たしてなくなるのか。

「地域共生社会の実現」という国が掲げる目標は、かつて私たち障害関係者がめざした社会であり、ようやく私たちの願いを具体化するチャンスが訪れたといえる。

さらに、各自治体で整備が進められている地域生活支援拠点も、障害者支援施設のこれからの役割を考えていくうえでも、非常に大きな転換点であると考えます。

本研究会議では、本会が考える地域共生社会の実現のため、すなわち、ケアコミュニティの考え方を知り、今ある施設機能をどう地域化し、その役割と使命を地域に根付かせていくのか、その方法と具体的な実践を学ぶことを目的に開催する。

2. 主催 社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国身体障害者施設協議会
(企画・運営：地域生活支援推進委員会)

3. 会期 令和2年2月18日(火)、19日(水)

4. 会場 ホテルグリーンタワー幕張
〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野2-10-3 (043-296-1125)

5. 参加定員 200名

6. 参加対象者 理事長、施設長、事務長、サービス管理責任者、相談支援専門員
生活支援員、その他職員

7. 参加費

(1) 全国身体障害者施設協議会の会員施設の役職員、および会員施設を拠点とする障害者の地域生活支援に関わるサービス事業所の役職員等	15,000円
(2) 上記以外の障害者の地域生活支援に関わるサービス事業所の役職員等	20,000円

8. 意見交換会参加費 7,000円(希望者のみ参加)

【1日目】

時間	プログラム
13:00～13:05 (5分)	開会あいさつ 全国身体障害者施設協議会 地域生活支援推進委員長 川田 功二
13:05～13:55 (50分)	基調報告「今、障害者支援施設が取り組むべきことと、 身障協の取り組み」 全国身体障害者施設協議会 会長 日野 博愛
13:55～14:00	会場転換
14:00～15:20 (80分)	講演「障害者支援施設の地域貢献と利用者の社会参加支援」 リエゾン地域福祉研究所 代表理事 丸山 法子 氏
15:20～15:30	休憩
15:30～16:30 (60分)	シンポジウム「ケアコミュニティを知る」 身障協が昨年度とりまとめた「身障協が考える地域共生社会～ケアコミュニティの実現に向けて～」をふまえ、ケアとは何か、コミュニティとは何か、そして、障害者支援施設がコミュニティでどのような役割を果たし、機能を発揮していくのか。 プロジェクトチームの委員による実践発表や意見交換を通じて、地域交流から地域の拠点となるべく、今ある機能を、そしてこれから備えるべき機能や役割を考える。 ■登壇者 身障協が考える地域共生社会の実現に向けたプロジェクトチーム 白 江 浩 (宮城県・太白ありのまま舎) 岩 崎 好 宏 (栃木県・ひのきの杜) 金 和 史岐子 (熊本県・たまきな荘)
16:30～16:40	休憩
16:40～17:30 (50分)	実践発表「地域生活支援拠点の機能を担う」 障害者支援施設が地域の中の拠点として、地域のさまざまな場で各自治体が整備を進めている地域生活支援拠点の整備に関わり、拠点機能を担っている施設の実践事例について、発表する。 ■発表施設 栃木県・ひのきの杜 熊本県・愛隣館
18:00～20:00	意見交換会 (希望者のみ参加) 全国各地からの参加者の交流により、研修会終了後もお互いの施設の取り組みやケアの質の向上に係る情報、施設間の交流を目的に開催する。 ★名刺をたくさん持参のうえ、ご参加ください

【2日目】

<p>9:00～12:30 (210分)</p>	<p>グループ別研修</p> <p>3つの会場に分かれ、共通テーマ、選択テーマについてグループ討議を行う。</p> <p>※ 「選択テーマ」につきまして、申込の際、第1希望、第2希望をご記入ください。(1・2・3のいずれかの数字をご記入ください)</p>
<p>9:00 ～10:00 (60分)</p>	<p>【共通テーマ】 地域生活支援拠点をいかに担うか</p> <p>前日の実践発表をふまえ、障害者支援施設として地域生活支援拠点にどのように関わっていくことが出来るか、自施設を振り返りながら、これからの取り組みについて、考える。</p>
<p>10:00 ～12:30 (150分)</p>	<p>【選択テーマ】</p> <p>1 相談支援事業の課題を考える～経営確立を実現する～</p> <p>障害者が希望する生活や自己実現を支える相談支援事業所を、安定的に運営していくため、現報酬において経営確立をしている事業所の実践発表をもとに考え、グループ内で議論を深める。</p> <p>2 グループホームを起業する ～重度障害者の地域生活を実現する～</p> <p>障害者支援施設からグループホームや在宅へとといった地域移行を円滑に進めるために、(日中サービス支援型)グループホームの事業展開に必要な経営的な視点や運営の手法等について、グループホームの運営事例の実践発表をもとに考え、グループ内で議論を深める。</p> <p>3 障害者支援施設の地域貢献や地域の公益的な取り組み</p> <p>障害者支援施設が地域貢献や地域の公益的な取り組みを一層展開していくため、先駆的に取り組まれている実践発表を通じて、グループ内で議論を深める。</p>
<p>12:30～13:30</p>	<p>昼食・休憩</p>
<p>13:30～15:00 (90分)</p>	<p>講義「福祉施設の人材確保・育成を考える」</p> <p>福祉の最大の課題である人材確保。求人しても応募が少なく、離職率も高い状況があり、この課題はますます深刻化している。</p> <p>福利厚生、福祉の魅力発信など福祉の新卒採用に必要なことは何か、福祉法人として考えるべき採用戦略と組織作りのポイントを学ぶ。</p> <p style="text-align: right;">社会福祉法人南山城学園 法人本部事務局 企画広報課長 岩田 貞昭 氏</p>
<p>15:00～15:05 (5分)</p>	<p>閉会あいさつ</p> <p style="text-align: right;">全国身体障害者施設協議会</p>

10. 申込方法等

(1) 申込方法

「参加・宿泊等のご案内」をご確認いただき、「参加・宿泊等申込書」を郵送またはFAXにて下記宛先までお送りください。

【申込先】名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター（担当：下枝、柴田） 〒100-0013東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル TEL 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119
--

(2) 申込締切 令和2年**1月10**日(金)必着 ※ 定員に達し次第、締切ります

(3) 参加券等

参加券・請求のご案内書等は、開催の10日前頃に名鉄観光サービス株式会社 MICEセンターよりお送りします。送付されるご案内書に記載の期日迄にお振込をお願いします。

(4) 申込の取り消し、変更

- ① **取消**：令和2年2月3日(月)までに参加申込取消のご連絡があった場合、参加費(15,000円もしくは20,000円)をご返金します。
令和元年2月4日(火)以降のご連絡は、原則として資料の発送をもって代えさせていただきます。宿泊費や意見交換会費の取消・返金は「参加・宿泊等のご案内」によります。
- ② **変更**：参加者の変更等は、名鉄観光サービス株式会社 MICEセンターに書面(FAX等)でご連絡ください。

11. **情報保障** ご要望の方は申込書の「備考欄」にご記入ください。

12. 個人情報の取扱い

① 個人情報の使用

「参加・宿泊等申込書」に記載の個人情報は申込受付等業務の委託契約業者（名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター）と事務局（全国身体障害者施設協議会事務局）で共有します。個人情報は、申込受付とその内容管理、宿泊等のサービス提供、また研修会運営に必要な範囲で使用します。

② 参加者名簿の作成

参加者交流に資するため、また参加状況把握のため、申込書をもとに事務局が参加者名簿（記載内容：都道府県名、会員施設名、参加者氏名、職種）を作成し、当日配付資料に印刷します。趣旨ご理解のうえご了解くださるようお願いいたします。

掲載を希望されない場合は、申込書の「備考欄」にその旨ご記入ください。

13. 問合せ・申込(提出)先

(プログラム・運営の問合せ) 全国身体障害者施設協議会事務局(担当:高柳) 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル 全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部内 TEL 03-3581-6502 FAX 03-3581-2428	(参加申込先、申込内容の問合せ) 名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター (担当：下枝、柴田) 〒100-0013東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル TEL 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119
--	---